

愛知県立豊橋工科高等学校で防災講座を行いました

令和6年10月18日（金）、愛知県立豊橋工科高等学校で3年生35名に防災講座を行いました。豊橋工科高校での防災講座は5年連続となります。

講座では、VRによる浸水疑似体験やマイ・タイムライン作成のを通し、早期避難の重要性、住んでいる地域の水害リスク、事前の避難行動などを学習しました。また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験では、「被害総額は」「どのような被害があったのか」など積極的に質問をし、今年65年を迎えた伊勢湾台風について理解を深めました。

他にも、災害に対して脆弱な国土であること、豊川流域の地形や特性など、自分たちの住んでいる地域がどのような所なのかを確認しました。

講座を通して、「VRで避難する大切さを学び、日頃から防災についての意識を高めておく必要があると分かりました。」
「今回の講座で、災害についてより詳しく聞き、豊橋や周りの市で今まで起きた災害を知り、とても被害があることを知りました。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は東愛知新聞に取材頂きました。

